

チャノキイロアザミウマ情報第2号

平成26年6月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病虫害防除室

1 発生状況

黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、東浦町、蒲郡市、豊橋市では平年並、南知多町では平年より少ない状況です（図）。

5月下旬に行った、ほ場周囲における本種の生息数調査（カンキツ24ほ場及びブドウ13ほ場のイヌマキ（防風垣）10新梢の払い落とし虫数）の結果、カンキツでは7.2頭（平年5.0頭、前年1.5頭）、ブドウでは1.2頭（平年2.0頭、前年4.9頭）で、カンキツ、ブドウともに平年並の発生量でした。

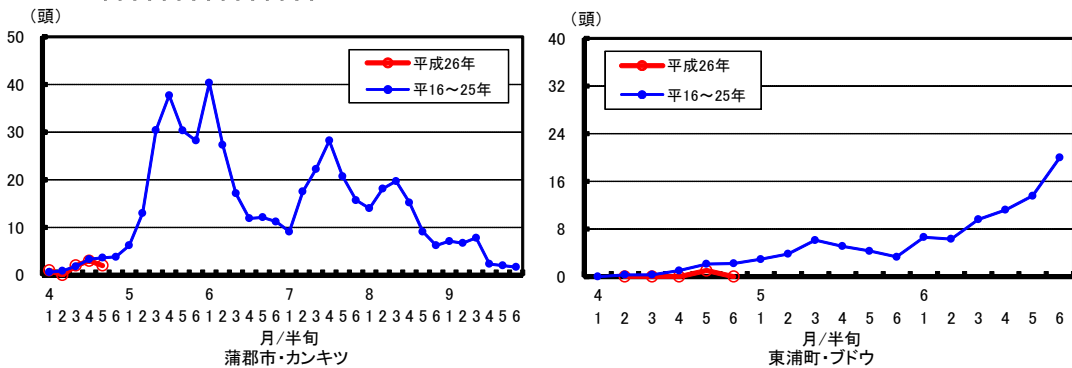


図 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

2 発生ピーク日の予測と防除

成虫の発生ピーク時が防除適期です。稲武を除いた地域における第2世代成虫の発生ピーク予測日は、ほぼ前年並の6月14日から21日です（表1）。発生が多いほ場では、表2を参考に防除しましょう。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	豊田	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	新城	稲武
第1世代	5/25	5/24	5/19	5/24	5/25	5/21	5/24	5/23	5/26	6/14
第2世代	6/18	6/20	6/14	6/19	6/20	6/17	6/18	6/19	6/21	7/12
（前年）	6/18	6/18	6/14	6/18	6/19	6/17	6/18	6/17	6/20	6/12 [*]
前年差	±0	2日遅	±0	1日遅	1日遅	±0	±0	2日遅	1日遅	2日遅 [*]
第3世代	7/10	7/12	7/6	7/11	7/11	7/9	7/10	7/11	7/12	8/4

注) 各地のアメダス平均気温から予測。 ※稲武については、第1世代の前年ピーク日と前年差。6月1日までは実測値を、それ以降は平年値（豊橋のみ前年値）を用いて計算。前年の第2世代は、前年気温の実測値を用いて計算。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
ブドウ	アドマイヤー顆粒水和剤
	コテツフロアブル
	コルト顆粒水和剤
	ダントツ水溶剤
カキ	コテツフロアブル
	コルト顆粒水和剤
	ダントツ水溶剤
	モスピラン顆粒水溶剤
カンキツ	アドマイヤー顆粒水和剤
	ハチハチフロアブル
	モスピラン顆粒水溶剤

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。